CPA 政連ニュース
日本公認会計士政治連盟
ACT TOGETHER URL http://www.cpa-seiren.jp

2017年04月15日
第420号

発行所
日本公認会計士政治連盟
〒102-8264
東京都千代田区九段南4-4-1
公認会計士会館
電話03-3515-1155

発行人　森 公高
編集人　林 敬子

CONTENTS

■ 公認会計士の知見を活かして
内閣府と金融庁の政務官として活躍

■ 活動報告
- 「武村展英新春のつどい」に参加
- 「西村やすとし君特別セミナー」に参加
- 京滋地方会近況報告
- 「おだち源幸を囲む公認会計士の会」を開催
- 若林健太「健政会朝食セミナー」に参加
- 小田原きよし議員と意見交換
- 国際会計士連盟（IFAC）会長、杉久武財務大臣政務官を表敬訪問

内閣府大臣政務官 **武村展英 衆議院議員** インタビュー

公認会計士の知見を活かして
内閣府と金融庁の政務官として活躍

今回は、衆議院議員2期目にして内閣府大臣政務官の重職を務められる武村展英議員です。経済政策執行の中心からどのような世界が見えているのか、公認会計士の視点からお話いただきました。

写真右下は、滋賀県守山市にある弥生時代後期の巨大政治祭祀空間「伊勢遺跡」。卑弥呼の「邪馬台国近江説」もあるそうだ。

大学時代から政策秘書に

山田　公認会計士から国会議員になられたのはどういうきっかけですか。

武村　私の出身地である滋賀県で自民党が公募していましたので、手を上げたところがスタートです。ただ、私は公認会計士から政治家というよりも、大学4年からずっと20代は議員会館でスタッフとして働いていたんですよ。大学時代から政治志向で、政策秘書の試験を受けて大学4年から政策秘書をやっていました。

山田　では逆に、会計士試験を受けようと思った動機は何ですか。

武村　大学は商学部で、1年生の簿記の授業でもう落ちこぼれていたんです。簿記3級よりも簡単な授業でしたが、そこから逃げて、会計科目は1単位も取らずに卒業しました。でもいつかもう1回勉強したいという気持ちはあったんですね。28歳のときに議員が落選して、議員が失職するとスタッフも失職するんですよ。それを機会に本気で頑張ってみたいなと思って試験を受けました。

山田　簿記3級手前でおちこぼれて、会計士試験というのはずいぶん大胆ですね（笑）。

武村　緻密な作業はもともと苦手ですから、最後まで簿記は苦手でした（笑）。でも、あえて苦手なものに挑戦したいという気持ちもあったんですね。

経済財政金融担当として取り組んでいること

吉原　内閣府大臣政務官に就任されて精力的に取り組まれている課題は何ですか。

武村　私はいま内閣府と金融庁の政務官という立場で、両方とも経済に関するところで本当にやりたかったことをやらせてもらっています。内閣府では、経済財政政策の司令塔である「経済財政諮問会議」と、成長戦略の司令塔である「未来投資会議」の二つを担当しています。そこでは皆さんに関係する企業のガバナンスから健康・医療戦略、PFI、個人情報保護、NPO、政府税調など本当にたくさんのことを扱っています。

例えば健康・医療戦略では、2025年には医療費がピークに、2030年には介護費がピークになる。それまでにどう医療や介護の提供体制を整えるかというのがいま、一番大きな課題です。ただアジアでも人口減少社会に今後、突入していきますから、日本での知見は海外に活かしていくことができます。

PROFILE

武村 展英 衆議院議員

昭和47年、滋賀県草津生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。平成15年公認会計士第二次試験合格、新日本有限責任監査法人入所。建設業、政府系金融機関等の会計監査、自治体の外部監査、省庁別財務諸表作成のコンサルティング業務に従事。平成26年、第47回衆議院総選挙で二期目当選。

吉原　モデルケースになっていくということですね。

武村　はい。いろいろ調べてみると、取り組みによって要介護の認定率を下げていく事例があるんですね。医療と介護は、これから見える化や合理化を標準化して横展開をしていくことが必要だと思います。

山田　日本の資本市場を世界で最も効率的、効果的なものにすると未来投資会議で議論されていますが、企業の情報開示の在り方についてお考えをお聞かせください。

武村　海外から日本に資本を呼び込んでいく中で、開示は極めて重要ですが、現状は海外から見て複雑で煩雑です。だから私は思い切って分かりやすいものにすることが必要だと思います。いま協会から提言を出していただいている「開示情報の一元化」は、大胆かつスピーディーに取り組んでいかなければならないですね。

山田　それがなかなか進まない理由として、株主総会の日程の問題があります。投資家と会社の対話は以前に比べると高まっていますが、相変わらず株主総会は6月末開催です。これが海外から見て、投資家に対してフレンドリーではないという印象を与えています。

武村　まずは内容を一体化していく。それから制度の一本化をしていく。その両方が必要だと思います。株主総会の日程を分散化するのは重要ですから、少し時間がかかるかもしれませんけれども力を入れて取り組んでいきたいと思います。会計士協会からも、日本経済再生本部に対してぜひご意見を言ってください。

金融庁で力を入れていること

武村　いま金融庁で私が一番力を入れているのは、地域の金融機関です。事業性評価が言われていますが、トップの意識にものすごく差があります。ある信用組合さんはすごく前向きに事業性評価に取り組んでいて、職員さんの人事評価にまで落とし込んで組織一丸となって取り組んでいる。一方、表向きはお客様第一と言いながら、心の中では全然理解していないトップも多いです。取締役会で社外取締役の方々を入れた実質的な議論をしているかというと、そうでもない。つまり地銀のガバナンスです。やはりガバナンス改革が一番重要だと思います。

山田　そういうふうに感じられるのは、会計士の経験があるからですか。

武村　いや本当に僕、会計士になって良かったです。常にガバナンスの絵があって、話をしているじゃないですか。国会議員もそうですが、省庁の方々でも会社法のガバナンスの意識がないんですよ。取締役の一人ひとりに権限と責任があるわけですから、それぞれについて責任を正していかないといけないと思います。

女性の活躍と働き方改革

吉原　女性の活躍が進められていますが、働く女性にどういったことを期待されますか。

武村　いま内閣府で働き方改革に取り組んでいて、やはり働きやすい職場環境が必要ですよね。イクボス宣言はいいと思います。私は一番最初に監査業務に就いた際、上司が1人のお子さんを持つ女性だったんですね。4時にお子さんを迎えに行かなくてはいけないと、子供最優先で全てぶん投げて行かれました（笑）。その上の上司が理解していたので、私はそれで朝まで働くことが何回かありましたけれど、やはり周りの協力が必要だと思うんです。最近、監査法人はいかがですか。

吉原　私は監査法人に入って11年目ですが、入ったときは上司に女性がほとんどいなくて誰を目標にしたらいいのか分からなかったんですけれども、いまは上司に女性が増えて働きやすくなっていると思います。

武村　ぜひ会計士業界が先頭を切って、働き方改革をアピールして女性の比率もどんどん上げていただきたいなと思います。

吉原　武村議員は大変お忙しいと思うのですが、おやすみは取れていますか。

武村　働き方改革と言っていながら、私は休みがないんですよ（笑）。平日、東京にいるので、土日は地元でフル稼働しないと地元の人に怒られるんです。お祭り、5件、10件、盆踊り踊ったりしてプライベートの時間がほぼない状態です。

吉原　リラックスするために何かされていますか。

武村　それもほとんどなくて、この議員会館の地下にジムがあるんです。プロレスラーだった馳先生や皆さん健康管理には気を使われているので、私もこれからはやっていかないといけないと思っています。

山田　健康にご留意して頑張っていただかないと、われわれも困ります（笑）。本日は有意義なお話をありがとうございました。

「武村展英新春のつどい」に参加

政治連盟京滋地方会　平成29年2月5日

公認会計士国会議員、衆議院議員「武村展英新春のつどい」が地元草津市の「クサツエストピアホテル」で開催された。武村展英議員（自民、滋賀3区、当選2回）は、現在、内閣府大臣政務官に就任され、政府の一員として多忙の日々を送られている。当日は木田稔京滋会会長をはじめ、京滋会所属の公認会計士多数が参加した。また、本部から加藤達也副幹事長も駆けつけ、会場一杯の地元支援者とともに武村議員を激励し、親交を深めた。

武村展英衆議院議員

「西村やすとし君特別セミナー」に参加

平成29年3月6日

憲政記念館（千代田区永田町）において、衆議院議員「西村やすとし君特別セミナー」が開催された。西村やすとし議員（自民、兵庫9区、当選5回）は、昭和37年生、54歳、通産省から政界入りされ、現在、自民党総裁特別補佐、筆頭副幹事長、金融調査会幹事長等として大いに活躍されている。本部政治連盟としては、兵庫県在住の公認会計士による「西村康稔を囲む公認会計士の会」（岩木英一会長）を中心とした地元会員との連携を図っていく所存です。

西村康稔衆議院議員

京滋地方会近況報告

会長　木田 稔

京滋会では二つの公認会計士の国会議員を囲む会があります。昨秋に開催した「伊吹文明を囲む公認会計士の会」（深井和巳会長）では、日本をとりまく国際情勢と今後のあるべき経済政策等についてご説明いただきました。興味深いお話であり、高いご見識に感銘をうけることとなりました。

「武村展英を囲む公認会計士の会」（深井和巳会長）では、ご就任された内閣府大臣政務官の職務の様子や日本の経済を立て直し、地域を発展させるための施策についてご説明いただきました。武村氏は公認会計士であり、益々のご活躍を期待しているところです。

いずれの国政報告に続く懇親会でも、国会議員の先生方と京滋会の囲む会会員との間で活発な意見交換がなされました。加えて、政党主催の勉強会や懇親会のほか、京滋会地区選挙区の国会議員が開催される懇談会や新年会に参加し、政策等のご意見を伺うとともに、公認会計士の活動についてご説明し、ご理解を得るように心がけています。

伊吹文明衆議院議員

武村展英衆議院議員

「おだち源幸を囲む公認会計士の会」を開催

政治連盟近畿地方会　平成29年3月7日

「おだち源幸を囲む公認会計士の会」（岩井伸太郎会長）第5回定時総会及び懇親会が開催され、囲む会の公認会計士15名が出席した。総会では、この1年間の活動報告及び平成28年度収支報告、規約改定案が提案され、原案どおりに承認された。また、残念ながら、昨年の参議議員選挙において3期目の当選を果たせなかったが、今後も、おだち源幸氏を応援していくことが満場一致で了解された。

この後、同氏から、御礼及び近況報告をいただくとともに、あらためて国政復帰を目指し、今後も政治活動を継続していく旨の力強い決意表明をいただいた。今後も引き続き公認会計士である尾立源幸氏を応援していく決意である。

おだち源幸前参議院議員

若林健太「健政会朝食セミナー」に参加

都市センターホテル（千代田区平河町）において、若林けんた東京後援会主催の「健政会朝食セミナー」が開催された。若林健太（公認会計士）前参議院議員は、昨夏の選挙で惜しくも議席を失われたが、国政復帰を目指し、持ち前の明るさと行動力をもって、朝の街頭演説など、日々精力的な活動に取り組まれている。当日は関根協会会長、森政連会長をはじめ多くの役員が激励に駆け付けた。引き続き長野県所属の会員をはじめ、全国の会員の支援をお願いしたい。

平成29年3月8日

若林健太前参議院議員

小田原きよし議員と意見交換

平成29年3月25日

小田原きよし衆議院議員（自民、東京21区、当選2回）が来会され、公認会計士をめぐる諸課題について意見交換した。小田原議員は外務大臣政務官としてご活躍中であり、また自民党企業会計に関する小委員会事務局長として、IFRSの任意適用企業の拡大促進等にご尽力いただいている。

小田原きよし衆議院議員

国際会計士連盟（IFAC）会長、杉久武財務大臣政務官を表敬訪問

国際会計士連盟（IFAC）会長のレイチェル・グライムズ（Rachel Grimes）氏、CEOのファイズル・チャウドリ（Fayezul Choudhury）氏、公共政策・規制担当部長のギャリー・プフリュグラス（Gary Pflugrath）氏の3氏が来日し、公認会計士国会議員の杉久武財務大臣政務官（参議院議員、大阪）を表敬訪問した。ご挨拶だけの予定であったが、政務官室スタッフの方々の温かいおもてなしもあり、予定時間を超えて公会計の整備等について意見交換することができた。

平成29年3月21日

左から、Gary Pflugrath氏、蕗谷竹生会員、Rachel Grimes 氏、杉久武財務大臣政務官、Fayezul Choudhury氏、海野正協会専務理事